



社会課題を克服し市民の幸せの実現には



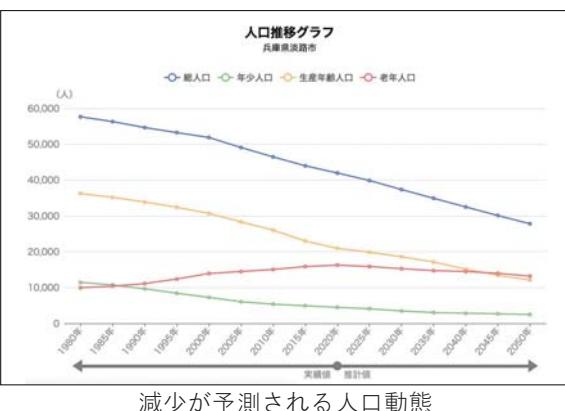
結いの会
戸田 敦大

問 市政発足20年を迎え、新たな20年のスタートを切る年になる。これから20年は人口の減少、また少子化・高齢化に起因する社会課題をいかに解決し、淡路市の持続可能性を高め、本市で暮らす全ての方々の幸せに結びつけることができるかが問われる。20年先を見据え、どのように社会課題を克服していくのか。本市が目指すべき姿、ビジョンは。

答 身の丈にあった運営を行います

市発足以降、そのときその状況に応じた施策をスピード感を持って積極的に展開するなど、身の丈に合った市政運営を継続してきました。今後も来るべき将来をしっかりと見据えながら、躍進を止めることなく、本市の将来像「いつかきっと帰

りたくなるまちづくり」の実現に向けて、着実な市政運営に努めてまいります。



減少が予測される人口動態



土木費予算は何番目に多いのか



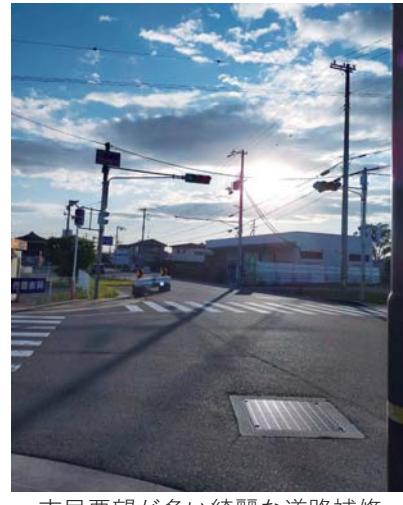
淡路クラブ
古山 久則

問 令和7年度一般会計当初予算について、予算総額に占める割合が大きい科目とその額はいくらか。
答 1番目は民生費で児童手当や医療費など90億2,820万円余、予算総額の23.1%。2番目は総務費、好調なるふるさと納税の事務費や職員の給与などで67億6,350万円余、予算総額の17.3%、3番目は諸支出金として基金積立金50億5,810万円余、予算総額の13%となっています。

問 土木費の予算は何番目に多いのか。また、その額は。

答 総額の7.6% 6番目
29.8億円

土木費の予算は29億8,450万円で予算総額の7.6%で6番目となります。道路維持管理、新設改良、道路橋梁費の予算は6億5,170万円前年度比較1億2,280万円余増となっております。



市民要望が多い綺麗な道路補修



公金収納有料化に伴う予算は



住民目線の会
石岡 義恒

問 令和6年10月から自治体が行う指定金融機関への振込について、全国一斉に公金収納が有料化されたが現状は。

答 年間2,300万円を見込んでいます

淡路信用金庫との協議を重ねた結果、1件あたりの振込手数料は、志筑支店はこれまでと同様に無料とし、同行の他支店は1件あたり

60円（税抜）、他の金融機関は1件あたり150円（税抜）となっております。

また、窓口収納手数料は、コンビニ収納手数料と同額になる1件あたり57円（税抜）となります。

問 年間振込件数と経費削減への取り組みは。

答 公的取扱件数は、全体で20万3,000件、市民サービス低下や業務への支障を招かない範囲で、振込手数料が発生しない淡路信用金庫志筑支店を振込先とするように取り組んでいます。

- その他の質問
- 淡路市都市計画マスターplan策定
 - 認知症対策について



本庁窓口のキャッシュレス端末機



明石大橋島民無料化は進んでいるのか



結いの会
富永 康文

問 以前の一般質問で、私や先輩議員も訴えてきた島民の悲願である明石海峡大橋の無料化課題。市長から「生活道路、国道28号なので、本来は無料のはずだが、国が法律を作ったので、現行料金が限度かと。しかし島民無料化は当然の権利なので進めていきたい」と答弁された。改めてその後の進捗状況や上位団体等の動きの進捗を問う。

答 淡路島市長会から県へ要望中です

容易なことではないのですが、料金低減のための価格解消に向け、令和6年10月に、淡路島市長会から県に対し、NEXCO路線の同様な割引率に向けた、関係機関への働き掛けや淡路地域の支援を要望しているところです。引き続き推進していきます。



無料化が切望される明石海峡大橋



かいぼり補助増額で漁獲高の向上を



無会派
田尾 成

問 淡路市は県下で一番ため池が多いところだ。その池の底に堆積している腐敗した草、木また微生物が混入した栄養泥を海へ流す「かいぼり」を行うことによって、海水へ栄養塩を供給することで、海水の栄養分を高めることとなる。また、池の底の泥を出すことによって、池の貯水量が増え、台風時の鉄砲水を池で受け止め、地域の防災にも役立つ。海にとっても植物

プランクトンや栄養塩の増加で豊かな海が維持されることとなる。しかし、この「かいぼり」への市からの補助金が1件で50万円しかなく、もっと増額することで、かいぼり事業がよく実施できることとなるが、予算の増額を図れないか。

答 関係機関と協議の上、検討します

かいぼり活動への支援を協議、調整の上、検討していきます。



漁獲高の向上が期待される水産業



地域に拠点整備が必要だが



無会派
田中 孝始

問 少子、超高齢、人口減少、単身社会に向かっていく。地域住民の暮らしとコミュニティの在り方を考えると、結縁による拠点づくりが必要だ。

答 困りごとに協働で解決を図ること、人と人のつながりの強化、将来の不安を地域住民の手で解消する目的で、小地域福祉推進協議体を設置しています。「旧岩屋保育所跡地活用」提案は行政と方向性は

同じです。

問 暮らしたい地域は自分たちで創ることが大事で、協議会を再開して、地元提案に寄り添いながら微調整して、前に進めるべきだ。

答 最適な利活用を見出します

他の休園施設と異なり、大規模ゆえの改修費用、維持経費等で財源等課題がありました。現状施設のままでの活用であったり、整備する方向等整理し、地域にとって最適な

利活用方法を見出していく。

その他の質問

- 温泉事業の継続



拠点として望まれる旧岩屋保育所